

青坂 賢二 議員



マイナンバーカードの普及促進は

質問

マイナンバーカードを用いた健康保険証については、現行様式を令和4年度秋までに原則廃止するとして、毎日テレビ・新聞等で報道されているが、マイナンバーカードを持っている人、また申請を行っている人もおり、全国でのカードの普及率は44%、道内では、更に低く、40・6%であり、奥尻町の現在の普及率については、前にも質問

したが、その後どうなったのか。

① 現在の奥尻町でのマイナンバーカードの普及率について伺います。

② 使用方法がわからない住民への対応について伺います。

広報誌等と休日臨時窓口開設で対応

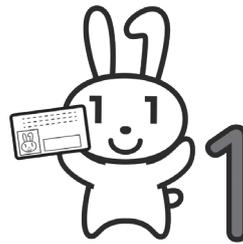
町長答弁

カードの普及率は、11月20日現在で53・1%と令和5年3月で国が目標としている達成基準を超えております。

また、カード使用に係る相談の窓口対応については、総務課戸籍係で行っており、マイナポイントの活用方法についても、相談内容に応じて説明を行っています。また、令和5年度から子育て・介護等の31項目の申請についても、マイナンバー

カードによるオンライン申請が可能となります。

今後もカードの普及率を上げるため、広報誌等による周知や平日に来庁が難しい方のために休日臨時窓口を開設し、対応を行います。



奥尻でも運転免許高齢者講習の実施を

質問

自動車運転免許の更新講習が、離島でもできるように道路交通法が5月に施行され、点検項目からS字カーブとクランクが外れ、試験学校以外でも一定条件を満たせば講習ができるようであり、利尻島では、今年島内で50名程度が講習を受講する予定であり、奥尻

町でも令和3年度においては、70〜74歳の方が29名、75歳以上の方が54名、計83名受講しているため、受講者の負担軽減の面からも奥尻町での講習実施についても検討すべきではないか。

実施地との条件が違いため開催予定がない

町長答弁

免許高齢者講習の奥尻町での実施については、利尻町で10月に講習を実施したことについては、新聞報道で把握しております。

奥尻町での実施について、道警函館方面本部に確認したところ、一定の条件をクリアする必要があり、講習の待機期間について利尻町と比較すると、近隣で受講できる自動車学校の数に差があるため、奥尻町の場合、速やかな受講が可能と

なっています。

現時点においては、奥尻町での講習開催については、予定していない旨の回答を得ております。



総務産業常任委員会

10月21日と11月30日に開会された総務産業常任委員会の概要についてお知らせします。

10月21日

教育委員会

○奥尻幼稚園の耐震診断は

4月27日から8月31日まで
 に実施し、体育館、職員室、
 教室は基準値を下回ったこ
 とから、耐震性に疑問が残
 る、倒壊の危険性がある、
 との結果になった。

新築には3億円程度で補
 助は3分の1、体育館のみ
 の耐震補強では7100万
 円程度の試算になることか
 ら、今後の入園数を考慮し
 た対応が必要になる、と委
 員からの質問に回答。

○島留学生の松風寮におけ
 る12室増設について新たな
 資料による報告がされまし
 た。増室の理由は民宿にお
 ける寮での感染症対策と男
 女比を考慮した場合の対策
 等であると説明。予算は総
 事業費1億2500万円
 半額は国の補助、町負担の
 7割は過疎債の適用で実質
 町負担は1875万円にな
 り、設計委託料600万円
 は12月定例議会に提案した
 い、と説明がありました。が、
 全員協議会で再度議論する

ことに決定しました。

○21日には稲穂ふれあいセ
 ンターの視察が実施されま
 した。



保健福祉課

○コロナワクチンの5回目
 の接種について報告がされ
 た。10月21日付で町民に対
 する案内を送付しファイザ
 ー社製のオミクロン株予防
 のワクチンである。

国からの指示では前回接
 種から3ヶ月の間隔で接種
 可能であり、インフルエン
 ザワクチンとの同時接種も
 可能とのこと。3回目と4
 回目のコロナワクチンを接

種していないとしても、5回目
 におけるワクチンの接種は
 可能と報告されました。

地域政策課

○住民税非課税世帯に対す
 る5万円の給付について次
 の報告がありました。

支給対象世帯は520世
 帯、申込書の発送は12月1
 日、1回目の支給は12月中
 旬以降、2回目の支給は毎
 月15日と月末、総事業費は
 2706万5千円で全額国
 の交付金。予算措置は国か
 らの正式通知後に専決処分
 したい。

○地方創生臨時交付金19
 90万2千円が交付される
 ので実施計画について報告
 がされた。内訳は福祉灯油
 250万円、社会福祉法人
 支援事業に514万3千円、
 地元応援商品券事業に17
 12万5千円。(1人7千
 円で令和4年12月26日〜28
 日に配布・利用期間は令和
 5年2月28日まで)

11月30日

地域政策課

○来年4月から適用する庁
 内の機構改革案について、
 脱炭素先行地域に指定され
 たことからゼロカーボン推
 進課の設置、その他財政課、
 住民課、産業振興課等の設
 置と名称変更になり、課長
 職が1名増になる、との報
 告がされました。



水産農林課

○青苗地区に設置されてい
 る町所有の冷凍庫の屋根の

補修について雨漏り防止策
 として実施した砂袋が破損
 し、地区住民から苦情が来
 ていることから、屋根の設
 置か強化ビニールシートか
 を見積もりによって検討中
 である。検討結果について
 議会に報告し意見を聞いた
 後に実施したい。改修にお
 ける保険は適用になる、と
 の説明がされました。

全員協議会

10月31日・11月14日

松風寮の12室増築に対す
 る新たな費用について、
 総額2億600万円、半額
 は国の補助、1億300万
 円の7割は過疎債適用で実
 質町負担は3090万円に
 なる、と説明がされた。

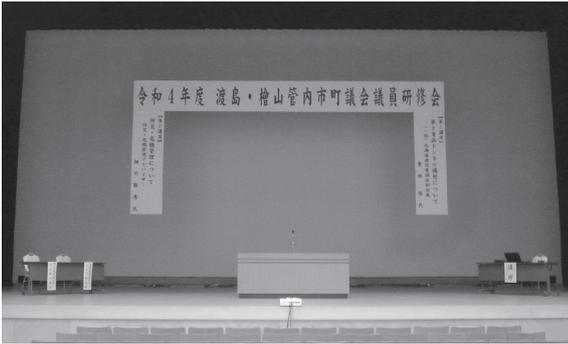
前回の説明からの増額の
 理由については物価高騰、
 共有スペース、浴室等の増
 築によるもので、備品購入



10月17日、八雲町熊石総合支所会議室にて、二海サームオンプロジェクトの説明を受け、意見交換を行いました。その後、漁港でいけすと孵化場の視察を行いました。

行政視察

費の200万円については町負担になる。来年度から松風寮にハウスマスター(舎監)を配置したい、との意向が示されました。



10月18日、北斗市総合文化センター・かなでーるにおいて議員8名が出席し、(一社)北海道建設業協会副会長・栗田悟氏による「第2青函トンネル構想について」、防災・危機管理アドバイザー・細川雅彦氏より「防災・危機管理について」とそれぞれ題した講演が行われました。

渡島・檜山市町議会議員研修会



10月24日、総務省より令和4年度市区町村議会議員総務大臣感謝状の贈呈があり、本議会からは、議員通算在職期間が35年となった青坂賢二議員、制野征男議員に感謝状が授与されました。これにより、12月6日の第4回定例会前に表彰状伝達式が行われました。

議員表彰

奥尻町議会のうごき

10月

- 4日～6日 長谷川参議院議員、菅衆議院議員表敬(東京都)…議長、副議長出席
- 8日 陸上自衛隊函館駐屯地記念行事(函館市)…議長出席
- 19日 第71回全国漁港漁場大会(函館市)…議長出席
- 26～30日 檜山町村議会議長会地域視察(新十津川町)…議長出席

11月

- 8日 檜山町村議会議長会地域視察(栃木県那須塩原市)…議長出席
- 9日 町村議会議長全国大会(東京都)…議長出席

12月

- 6日 広報編集特別委員会
- 19～23日 脱炭素先行地域認定授与式等(東京都)…議長等出席

※誌面の都合上、本誌内で紹介していない行事のみ掲載しています。